

部位別の掃除方法

【退去時のクリーニング】

過度な清掃、利用する洗剤等で逆に材質を痛めないよう注意してください。設備によっては清掃方法や使用可能な洗剤等が決められている場合があります。そのルールを守って行ってください。

【掃除方法】

キッチン：

1) オープン、ガスレンジなどは目に付きやすい部分です。油よごれはもちろん、こげなどもきれいに落とす。洗剤は強すぎると傷が付いたり剥げたりするので、ソフトなものを使用する。(例えば食器用洗剤やソフトスクラブなど。)金属たわしは傷が付くので使用しない。オープンにはオープン専用クリーナーを使用する。オープンの中にあるブローイラートレーも必ずきれいにし、油汚れなどが残っていないようにする。



- 2) 換気扇も同じように油汚れがないようにきれいにする。換気扇のカバーは簡単に傷が付いたり、表面がはがれたりするので、必ずソフトな洗剤を使用し、間違っても金属たわしなどでこすらないようにする。
- 3) 冷蔵庫の中はきれいに掃除をし、上、下、後ろなどもほこりを取って拭く。
- 4) その他の電化製品も外側をきれいに拭き、指紋や汚れなどが付いていないようにする。
- 5) キッチンキャビネットは中と外を拭く。キャビネットの中には何も残してはいけない。カウンタートップはほこりと油汚れを取りきれいにする。
- 6) 床はモップ拭きをする。
- 7) 窓の棧も汚れを取り水ぶきする。強い化学洗剤は使用してはならない。

ブラインド：

窓に付いているブラインドは、泥やほこりを落とし、きれいに水ぶきする。どの種類の化学洗剤もブラインドを傷めるので使用してはならない。

ラジエーター(暖房装置)とエアコン通気口：

ほこりを取り除いておく。

カーペット：

インスペクションの直前に十分に掃除機をかける。

電燈と電球：

切れている電球は取替え、すべての電燈が点くようにしておく。

洗濯機と乾燥機:

洗濯機と乾燥機もきれいにする。乾燥機の綿ぼこりは取り除き、洗濯機の中にあるソフトナー注入口も必ずきれいに拭きとる。

バスルーム:

バスルームは、シャワー、バスタブ、シンク、洗面台、トイレ、鏡、シャワードア（ドアの上と下のレールも含む）などをきれいに掃除をする。カビなどが生えていたらそれもきれいに取り除く。掃除に使用される洗剤の中には、強すぎてガラスドアについているアルミニウムを傷めるものもあるので、注意が必要。電球が切れていたらそれも取替え、カバーはきれいに拭く。



ドア、冷暖房排気口:

表面のほこりを取る。

木製床:

乾拭きを行ってください。水拭きをしたり強く拭き掃除をするとコーティングや床材を痛めためる場合があります。

クローゼット:

クローゼットの中には私物が残っていないか、確認する。

ごみ:

ごみはインスペクション時までには処分しておく。

ガレージ:

私物はすべて撤去し、ほうきではいておく。

地下室:

下室に続く階段、地下室はほうきで掃き、水ぶきする。

セントラルバキューム:

バキュームのごみの溜まるバケツはごみを捨て、空にしておく。掃除機のホースは巻き、ヘッドやその他の部品はきちんとパントリークローゼットに収納しておく。